

入間ケーブルテレビ株式会社

2023年度 第1回番組審議会 議事録

作成 山崎 英之

日時：2024年1月25日（木）17:00～

場所：入間ケーブルテレビ 本社 3階会議室

出席委員：小林 昌幸、島崎 吏、野村 ふみよ、杉山 若江、関谷 敦子、藤田 勝仁

欠席委員：松本 義明 （敬称略）

放送事業者出席者 代表取締役社長 鹿倉 貞二

代表取締役相談役 荻野 喜美雄

取締役会長 奥田 貴哉

取締役副社長 佐藤 敏光

取締役営業部長 楠見 裕

監査役 中岡 俊治

制作編成部部长 小太刀 亨

制作編成課課長 山崎 英之

議事：

事前に委員に番組 DVD を送付し、出席前にご視聴いただきました。議題に沿って委員より番組視聴の感想・意見・疑問点などを挙げていただき、他の委員と意見を交わす形式にて議事を進めました。（収録番組「新年特番」・「週刊いるま『特集』」）

「新年特番」について

「新年特番」（特別番組 1時間番組）

放送日時：2024年1月1日～1月6日（1日1～3回放送）

内容：毎年元旦からレギュラー番組を変更し新年特番を制作・放送しています。
今年は、入間市に特化したクイズ大会を開催。市内の団体5チームが参加し「いるまにあ」の称号をかけて戦っていただきました。

（委員）長年入間市に住んでいても知らない事ばかりで勉強になりました。参加が5団体では少ないので、もっと増やしてほしいです。クイズもさらにバリエーションがあれば盛り上がると思います。

（委員）博物館から出題したクイズが秀逸でした。1つのクイズの中に多くの情報を詰め込むことで、より多くの知識を学べたらと思います。

（委員）回答者の男女比、年齢層に偏りがあります。出演依頼の際、男1女1でお願いするなど工夫をお願いします。市役所関係者も除外するのが望ましいです。

（放送事業者）団体の選定にあたり、バランスがとれるよう改善します。

「週刊いるま『特集』」について

「週刊いるま『特集』」（毎週水曜日更新 30分番組内の5分前後）

放送日時： 毎日12:00/18:00/21:30（1日3回放送）

内容： 1週間のニュースをお伝えする「週刊いるま」に特集枠を設置し、様々な話題をより深く掘り下げてお伝えしています。
取り上げる話題も、子どもに関連するもの、SDGs、狭山茶、サークル、団体、スポーツなど多岐にわたります。

（委員）入間向陽高校書道部のパフォーマンスは、とても感動しました。

（委員）子どもの話題も多く、教育格差の問題にも踏み込んでいて好感が持てました。

（委員）おもちゃ病院も、技術力の高さに驚きましたが、どこで行っているのかななどの情報が薄かったです。詳しい情報はQRコードでホームページなどに誘導していましたが、テレビ視聴者はテレビのみで情報を知りたいと思っています。広く知らせるといふ、テレビの役割を果たしていただくようお願いします。

（委員）若い世代も番組を見て情報を得たいと思えるように、ニーズを聞いて若い世代へのアプローチをしてください。

（委員）SPOBYの話題も一度取り上げていますが、その後は情報を発信していないように思います。一度きりで終わらず、継続して情報を発信していくようにしてください。

その他

（委員）太鼓セッションの番組を見ました。以前の番組審議会で、各団体の詳しい情報を出してほしいと依頼しましたが、放送をみても改善されていませんでした。改善を検討してください。

（委員）奥むさし中学生駅伝大会を見ました。市内の中学生が走るのに興味深いのですが、下位チームはほとんど映りません。トップだけでなく下位が映るように工夫して下さい。

（委員）能登半島地震がありました。石川県のケーブルテレビ局との連携はしているのでしょうか？

（放送事業者）被災地のケーブルテレビ局ではコミュニティチャンネルの制作をしていないと聞いています。被災地では電柱が倒れ停電が相次ぎ、サービスが提供できていないとのこと。

（委員）入間市は被災していませんが、市民が被災地に対して支援する方法もお知らせしてください。

（委員）市報の変更などで、地域のイベント情報が伝わりにくくなっています。イベントを取材するだけでなく、事前に告知してほしいです。

（委員長）貴重なご意見をありがとうございました。

本日頂いたご意見を参考に今後の番組制作をお願いします。

以上